



— 本日のプログラム —
=最終クラブ協議会= 於：ねぶた温泉 能登の庄
◆ロータリーソング『それでこそロータリー』

第2859回例会（6月13日）報告

司会 柴田 薫 SAA委員

◆開会点鐘 石橋賢良会長

◆ロータリーソング『我等の生業』

◆ゲスト紹介 石橋賢良会長

・輪島病院 理学療法士 服部 愛さん

・地域医療連携室 障子真由さん

◆誕生日祝い 春木謙一親睦活動委員

・6月3日 森山秀夫会員 ・6月23日 寺西堅太会員



◆会長の時間 石橋賢良会長

本日は、ロータリーについての雑学的な話を三つほどしたいと思います。

1. 第一例会には国歌を歌う。例会場には国旗を掲げる。

戦争中、ロータリーは発祥の地がアメリカであることから、アメリカのスパイではないかと嫌疑をかけられたり、フリーメーソン（世界最古かつ最大規模の友愛団体はロッジと呼ばれる集会場において、儀式や講義を通して人間の基本的な道徳を学び教え合っている）の組織だという疑いをかけられました。

その疑いを晴らすために、国に対して忠誠を誓うことを証明する意味で、例会で国歌を歌い、それが習慣化したものです。

当時は、毎例会ごとに特高が来て、サーベルをガチャつかせながら例会を監視したそうです。

国旗も同様な理由で掲揚され、今日に至っています。

2. ロータリーの会合は、点鐘で始まり、点鐘で終わる。

これは例会だけではなくありません。年次大会、地区協議会、IM等ロータリーの会合はすべて同じです。

なぜ点鐘かについては誰も疑念を差し挟まないようですが、どうも点鐘は日本独自のもののようです。

外国では点鐘の代わりに“Call to Order”つまり“お静かに願います”の発言があって例会が始まり、あるいは発言に続くお祈りの後例会に入るといったケースが多いようです。

3. 例会ではロータリーソングを歌う。

初期のシカゴロータリークラブは、会員同士の親睦と物質的相互扶助が盛んに行われていましたが、1907年にポール・ハリスは対社会的奉仕と拡大に活動方針を転換

しました。さらに、1908年に入会しましたアーサー・シエルドンは奉仕の必要性を強調したため、シカゴクラブは親睦・互惠派と奉仕・拡大派に分かれて、毎例会は激論の場と化しました。そのとげとげしい雰囲気を和らげるためにハーリー・ラグラスが始めたのが、歌を歌うという習慣でした。日本では、例会や各種の会合が始まる前や閉会する前に、儀礼的にロータリーソングが歌われますが、本来はそのような歌い方をするのではなく、どんなタイミングで、どんな歌を唄おうと一向にかまわないようです。

以上3つの雑学でした。

◆幹事報告 大向洋紀幹事

・次週の例会は最終クラブ協議会となります。

日時：令和5年6月20日(火)

場所：ねぶた温泉 海遊能登の庄

PM4：00 受付開始

PM4：30 開会点鐘

PM5：00 最終クラブ協議会

PM5：40 クラブ懇親会

◆出席報告 山上剛史出席・ニコニコBOX副委員長

6月13日の暫定出席率：65.52%

(出席19名、欠席10名)

5月23日の確定出席率：100%

(出席24名、欠席5名、メイク加算5名)

◆ニコニコBOX報告 山上剛史副委員長

・山上さん退院おめでとう。第26回親睦ゴルフコンペで優勝しました。有難うございます。 石橋賢良会長

・服部さん、ようこそ輪島ロータリークラブへ。卓話よろしくお祈りします。 大向洋紀幹事

・服部さん、障子さん、輪島ロータリークラブへようこそ。卓話を宜しくお祈り致します。 徳野喜一郎会員

・誕生日のお祝いありがとうございます。ゴルフがんばります。 寺西堅太会員

・入院の御見舞ありがとうございます。今後共よろしくお祈りします。服部さん、入院中はお世話になりました。

山上剛史会員

◆卓話 輪島病院 理学療法士 服部 愛さん

テーマ『一生寝たきりにならない体づくり』



◆閉会点鐘

石橋賢良会長

〔編集：古川 豊会員〕